

この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。

「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		法令を遵守したスペースを確保しています。
	2	職員の配置数は適切であるか	○		適正な職員配置数で運営を行っています。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか		○	入口までの階段や、トイレの段差などは、構造上施設の設備は車椅子等での利用はできない等、十分ではない状況です。ご利用中のお子様に対しては声かけや誘導を行うことで補っています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		コロナ禍以降、継続して清掃・消毒などは徹底して行っています。利用者の特性などに配慮した活動やレイアウトの工夫をおこなっています。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		現在、管理者を中心に職員全員で、業務改善を進めるため、日々PDCAサイクルを実施しています。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		保護者様向けの自己評価表や送迎時に頂いた意見を参考に、業務改善に取り組んでいます。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		株式会社ルートのホームページ上で公開しています。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	現在、外部評価は行っておりません。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		社内外、県、各自治体主催の研修などにZOOMなどで積極的に参加しています。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		保護者との面談等でのアセスメントに基づき、個々のニーズを把握し、個別支援計画を作成しています。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		事業所独自のアセスメントツールを使用しています。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		児童発達支援ガイドラインに沿って、支援計画を作成しています。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		個別支援計画に沿って、一人ひとりの支援プログラムを作成しています。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		職員全員で話し合い、決定し、実行しています。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		一人ひとりの興味や関心にも配慮しつつ、色々な活動にチャレンジしてもらえるように日々工夫をしています。
16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○		個別支援計画に基づき、個別活動と集団活動を織り交ぜた支援を心掛けています。	

	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○	職員全員でミーティングを開催し、毎日情報共有や支援内容の確認等を行っています。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○	職員全員でミーティングを開催し、毎日振り返り等気づいたことの確認と記録での共有を行っています。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○	日々の支援は施設運営システム(HUG)で記録を残しています。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○	お子様の状況に応じて、その都度職員間で話し合い、見直しが必要の時は計画を変更するように努めています。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最も心ざわしい者が参画しているか	○	サービス担当者会議には、管理者及び児童発達支援管理責任者が参加しています。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○	医療的ケアが必要なお子様や重症心身障がいのあるお子様の利用はありません。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○	同上
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○	児童発達支援事業所や障害児相談支援事業所等とつながっているお子様については、就学前に情報共有をさせていただいていますが、全ての利用者ではありません
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○	就学時の担当者会などに参加させていただき、事業所での様子などの情報共有をさせていただいています。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○	現在、外部との交流の機会は設けておりません。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○	現在、参加できていない状況です。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○	連絡帳や送迎時にお子様の状況をお伝えしています。気になる事等があれば個別に話すようにしています。
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○	個別に相談に応じたりすることはありますが、ペアレント・トレーニングとして保護者様に開催は現在のところしておりません。今後、要望等を確認し適宜開催していきたいと思っております。	
32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○	見学时、契約時に説明させていただいています。	
33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○	支援計画については保護者の方に説明し同意を得た上で作成をしています。	

保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○	送迎時など保護者様からの相談には、その都度対応しています。社内にて一度持ち帰り職員間で共有し話し合いの上、必要であれば、相談支援事業所、他事業所等と連携を図るように努めています
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○	各家庭の事情を考慮して、保護者会の活動は行っていません。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○	迅速かつ適切に対応するよう心がけています。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○	施設運営システム(HUG)にて活動概要や行事予定をお伝えするようにしています。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○	個人情報管理には細心の注意をはらっています。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○	利用者の特性に合わせて、絵カードや個人のブック、コミック会話他、意思伝達ツールを使っています。保護者の方には、連絡帳への記入や分かりやすく説明するなど情報を伝達しています。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○	現在、外部との交流の機会は設けていません。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○	各種マニュアルを作成しておりますが、保護者様への周知が不十分であることから、今後面談などの折りに説明していくように努めます。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○	地震や火災を想定した避難訓練の実施をしています。曜日によって、ご利用中のお子さまが違う為、日々訓練していきたいと思えます。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○	契約時に確認させていただいております。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○	直接医師の指示書を活用することは現在のところありませんが、保護者様から聞き取り、それに基づいた対応をしています。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○	ヒヤリハット・事故報告書等、作成し職員間で共有し、日々リスクマネジメントを心がけています。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○	県主催の虐待防止・権利擁護研修への参加や、社内でも定期的に開催しています。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○	現在、身体拘束を行う可能性のあるお子さまの利用はありませんが、必要に応じ、どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、必要な方には児童発達支援計画に記載していきます。